令和5年度教員研修計画 【小学校・義務教育 学校前期課程教諭 基本研修内容】

キャリア・ライフステージ ／ 研修 ／ 実施機関等 ／ 育成指標		基礎力の形成期								実践力の向上期		実践力の充実期 ／ 実践力の発展期 ／ 総合力の発揮期		
		初任者研修				2年目研修			3年目研修		教職経験者5年研修	中堅教諭等資質向上研修 ／ ステージアップ研修（前期・後期）		
		所属校 （150時間程度）	総合教育センター Ⅰ（3日間）、Ⅱ（3日間）、Ⅲ（3日間）	教育事務所 （5日間）	市町村教育委員会 （1日間）	所属校 自己研修（5時間程度） 校内授業研修（5時間程度）	総合教育センター （2日間）	教育事務所 （2日間）	所属校 自己研修（5時間程度） 校内授業研修（5時間程度）	総合教育センター （2日間）	総合教育センター （2日間）	教育事務所 （2日間）	所属校 中堅教諭等資質向上研修 一般研修（5日間） 自己研修（10～15日間）	教育事務所 中堅教諭等資質向上研修 （4日間）	総合教育センター　他 中堅教諭等資質向上研修 共通（1日間）、共通選択（1日間）、小学校教諭（1日間）、推奨研修（1日間任意） 実践力の発展期／総合力の発揮期 ステージアップ研修（前期・後期） ・テーマ研修（2日間以上） ※必要な学びを主体的に研修 ・選択必修（2日間）
教員としての素養		・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進	・メンタルヘルス不調の要因と対処 ・感情のコントロール ・本県の求める教師像 ・本県教育の現状と課題 ・自己研修の意義と進め方	・専門職としての心構え ・身分と服務 ・社会人としての心構えとコンプライアンス	・新任教員に期待すること ・各市町村における教育課題	・自己研修の推進 （5時間程度） ①P（2h程度,1回～n回） ②D（随時） ③C（3h程度,1回～n回） ④A（随時） 全部で5h程度を目安	・自己研修の交流	・メンタルヘルス不調の要因と対処	・自己研修の推進 （5時間程度） ①P（2h程度,1回～n回） ②D（随時） ③C（3h程度,1回～n回） ④A（随時） 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・岩手の義務教育の充実に資する教員の在り方 ・「学び続ける教師」を具現化する自己研修の在り方	・児童生徒指導におけるコンプライアンス	・専門職としての教員の在り方	・ミドルリーダーに求められる資質 ・自己研修シェアリング	・本県教育行政の概要 ・小学校教員に求められる資質・能力
学習指導力	カリキュラム・マネジメント	・教育課程の理解 ・年間指導計画の作成 ・消費者教育の進め方 ・環境教育の進め方 ・学校全体で進める道徳教育 ・人権教育の進め方 ・健康教育の意義と進め方 ・食育の意義と進め方	・カリキュラム・マネジメントの在り方 ・プログラミング教育の意義 ・人権教育の推進								・本県教育の重点と学校教育目標の関係を踏まえた教育活動の展開 ・学びの連続性や教科等横断的な視点を踏まえたカリキュラム・マネジメント ・人権教育の充実		・教育課程編成の手順 ・年間指導計画・単元構想の作成（指導案検討）	・異校種間の連携 ・人権教育の総合的な推進	・教育の最新事情 ・国の教育施策 ・世界の教育の動向
	教科教育等の専門性	・資質・能力を育成する教科指導 ・教材研究の進め方 ・教材・教具の作成と活用 ・児童会活動の指導の実際 ・クラブ活動の指導の実際	・各教科における資質・能力の育成と指導と評価の基礎・基本 ・総合的な学習の時間の意義と進め方 ・外国語活動・外国語科の意義と進め方	・教材研究の方法と実際 ・道徳科授業の指導と評価 ・特別活動の指導と評価 ・教科授業の参観と実施 ・授業の分析 ・個に応じた指導の進め方			・教科指導における資質・能力の育成と授業改善 ・教科の目標等を踏まえた指導と評価の理解「社会科」「理科」「生活科」「音楽科」「図画工作科」「家庭科」	・特別活動（学級活動）の授業の参観と実施 ・道徳科を要した道徳教育の推進		・教科指導における資質・能力の育成と授業改善 ・教科の目標等を踏まえた指導と評価の理解「社会科」「理科」「生活科」「音楽科」「図画工作科」「家庭科」「外国語活動・外国語科」	・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善「国語科」「社会科」「理科」「算数科」「音楽科」「図画工作科」「体育科」	・道徳教育における課題と指導の改善 ・特別活動における課題と指導の改善	・各教科における見方・考え方を働かせた授業 ・授業におけるICT機器の活用 ・指導力向上に向けて（授業研究会）		・特別活動の実際 ・外国語教育の実際 ＜推奨研修（希望研修）＞ 小学校教諭教科スキルアップ ・ICTを活用した教科指導 ・教科指導の実際「社会科」「理科」「図画工作科」「家庭科」「生活科」「体育科」「音楽科」
	確かな学力を育む授業	・学習指導案・週案の書き方 ・授業参観の実施と振り返り ・研究授業の実施と振り返り ・授業における児童理解 ・評価問題の活用の仕方 ・宿題と家庭学習の在り方 ・学習態度の指導 ・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方 ・通知表の作成の仕方	・いわての授業づくり3つの視点を踏まえた学習者中心の授業実践・授業改善 ・ICTを活用した教科指導 ・発達と学びの連続性	・主体的・対話的で深い学びを視点とした学習者中心の授業実践・授業づくりの実際（各教科・領域）		・校内授業研修　（年間1回5時間程度）	・いわての授業づくり3つの視点を踏まえた学習者中心の授業実践・授業の展開 ・ICTを活用した教科指導	・特別活動（学級活動）の進め方	・校内授業研修（年間1回5時間程度）	・いわての授業づくり3つの視点を踏まえた学習者中心の授業実践・授業の展開 ・ICTを活用した教科指導	・ICTを活用した教科指導		・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善の実際（教科・領域） ・ミドルリーダーとしての学力保障への取組	・諸調査を活用した本県の学力向上への取組
生徒指導力	発達支持的生徒指導	・児童理解の実際 ・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・学校における生徒指導体制 ・学校行事の指導の実際 ・学級経営案の作成と評価 ・学年経営と学級経営の関わり ・学級組織のつくり方と運営 ・学級活動の指導の実際 ・学級事務の進め方 ・教室環境の在り方と整備 ・（長期）休業中の生徒指導	・情報モラル指導の実践	・生徒指導の意義と進め方 ・学級経営の意義と進め方				・学級経営における課題と改善			・多様性に配慮した児童理解と学級経営		・異校種間連携の在り方 ・望ましい学級・学年集団づくり ・学年・学級経営の評価と改善	・様々な立場の同僚と連携して取り組む、多様性に配慮した学級・学年経営	・情報活用能力（情報モラルを含む）の育成 ・学級経営改善の視点
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校児童への対応 ・いじめ防止とその対応	・いじめ問題の対応と生徒指導	・問題行動の理解と指導の進め方						・いじめ問題への対応		・自殺予防教育の組織的な進め方 ・いじめ防止と対応の組織的な進め方	・子供の生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方 ・いじめ等の問題行動・不登校等への組織的対応		・学校のいじめの実態 ・いじめの理解と対応の工夫 ・不登校の未然防止のための見取り ・不登校の背景理解 ・貧困問題への理解 ・不登校事例への柔軟かつ一貫性のある対応 ・生徒指導上の問題対応と未然防止
	教育相談	・児童のほめ方・叱り方 ・教育相談体制の理解	・児童理解と教育相談 ・カウンセリング技法の基礎・基本					・基本的なアセスメントの進め方				・課題を抱えた児童の理解と対応 ・教育相談の進め方	・アセスメントの進め方の実際 ・教育相談の進め方		・実効的なカウンセリング理論と技法
マネジメント力	学校組織としての連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校の組織と運営											・学校教育目標実現のための学校運営・学校評価		・学校を支える教員の在り方 ・教員の在り方の再考と後輩の育成
	危機管理	・学校安全の意義と進め方					・事件・事故災害発生時の危機管理						・学校保健計画及び学校安全計画の改善	・ミドルリーダーとしての学校安全への取組（生活安全・交通安全・災害安全）	・専門職としての教員に求められる法令・法規 ・学校安全・危機管理の在り方
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談や保護者会、家庭訪問の進め方			・各市町村の教育関係施設の現状と活用								・家庭・地域との連携の意義と進め方		・地域と学校の連携・協働の推進
復興教育の視点		・「いわての復興教育」の実際	・「いわての復興教育」の意義				・「いわての復興教育」の在り方						・所属校における「いわての復興教育」の推進		・「いわての復興教育」の取組
キャリア教育の視点		・キャリア教育の進め方	・いわてのキャリア教育の意義				・キャリア教育の現状と課題						・所属校におけるキャリア教育の推進		・いわてのキャリア教育とその進め方 ・企業における人材育成 ・これからのキャリア教育の在り方
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点		・特別支援教育の実際 ・個別の指導計画等の活用 ・交流及び共同学習の意義と実際	・発達障がい等特別な配慮や支援を必要とする児童の基本的理解と支援の在り方 ・特別支援教育の意義 ・多様性と包摂性のある学校の在り方					・学級経営における多様な児童のニーズに応じた支援の在り方			・多様性と包摂性のある学校の在り方		・特別支援教育と指導・支援の実際 ・特別支援教育指導法 ・特別支援教育の今日的価値	・多様性と包摂性のある学校の在り方	・共に学び、共に育つ教育を目指す特別支援教育の推進 ・心のバリアフリーの理解 ・特別支援教育の実際
ICTや情報・教育データの利活用の視点		研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。													

※　複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。